

1 学校教育目標

伸びる子 強い子 やさしい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	児童が安心して学び、安全に楽しく生活できる学校 バランスの良い「知・徳・体」を育むことができる学校 地域と協働し、保護者や地域の期待に応え、信頼される開かれた学校
○児童・生徒像	自分から進んで、より高い所を目指して学び生活する子ども 健康で強い意志をもって、正しいことをする子ども 豊かな心で思いやりをもち、誰とでも仲良くする子ども
○教師像	使命感・展望・情熱をもち、指導・校務・研究にバランスのよい力量を身に付けた教師 児童が「できた」「分かった」「もっとやりたい」と実感できる、主体的な学びを引き出す授業ができる教師 児童を深く理解して共感的な生活指導に努め、「いじめを絶対に許さない学級づくり」が果たせる教師 組織人としての責任感、協調性を有し、高次元の和で結束する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- ・明るく素直で思いやりと優しさをもつ児童が多い。ICT機器を活用する力が高い子供たちである。
- ・教職員は、教育熱心で児童への愛情が深い若手教員とベテランのバランスがよい。中堅教員はミドルリーダーとしての力量がある。また、情報教育拠点校・Google for School 事例校としてICTを活用したよく分かる授業を行う力と担当校務の遂行力を備えている。全教職員が「西新井小を持続可能な学校にする」という理念のもと一致団結している。
- ・保護者および地域は学校に協力的であり、新型コロナウイルス感染症対策も徹底してくれている。地域は昔からの協力体制が整っており町会・自治会の結束力も高い。地域で子供たちを見守る風土もあり様々なボランティア活動を通して学校を支えてくれている。

【前年度の成果と課題】

- 基礎学力の定着について目標通過率（80%）は達成できたが、目標正答率（80%）に届いていないので、授業改善・補充指導が必要である。
- 高学年において教科担任制による授業を行い、導入による成果と課題が明らかになった。今後は、指導内容や時間等を工夫しながら分かる授業を実現させ、児童の学力向上につなげていきたい。
- 情報教育拠点校として、授業研究・公開授業・テンプレート作成等を行い、教育のレベルアップを図ると共に区内小学校への先進校としての責務を果たすことができた。今後は、児童の情報活用能力の向上、AIドリルや児童用デジタル教科書の活用が課題である。
- 算数においても言語能力不足が見られる。さらに言語活動を活発にして、言葉の力やコミュニケーション力を高めていきたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	安全で安心できる学校づくり	○	○	○	○	○
3	開かれた学校づくりの推進	○	○	○	○	○
4						

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
-------------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
基礎学力の定着	80%以上		自己評価の際に記入	

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	基礎学力の定着	全児童 国語 算数 補充：低 正答率児	毎週 夏季 通年	パワーアップタイム 担任による朝学習 放課後学習教室 全教員による補充指導 サマースクール 全教員による集中指導 AIドリル活用：朝・放課後等 家庭学習でも	4月、2月に 過去の区学力 調査問題（過 去問）実施	・国語の正答率 80%以上 ・算数の正答率 80%以上	自己評価の際に記入		
2 継続	高学年の教科担任制の実施	高学年 国・社・ 体・外・ 家・総合 等	5月～ 週6回	3人の担任が担当教科を決めて3学級で授業する。 ・各学年で教科を選ぶ ・各教科2時間×3学級	・進捗状況の 確認(毎週)	・各教科標準時 数の80% (国語以外)			

3 継続	授業観察 OJT	全教員	概ね、 6月 10月 2月	管理職による定期授業観察 ・事前指導、OJTペアによる授業観察・事後指導 ・全29項目・授業の型を身に付けさせる。 ・授業の基礎・基本「西新井小スタンダード」「足立スタンダード」の修得 ・項目ごとに評価、「授業力カルテ」として成長点や課題を明確にする。	・3半期ごとの授業カルテによる確認 ・カルテによる達成度(数値)による測定	・年間各3回完全実施 ・ことばの力を高める指導の工夫 ・カルテによる達成度平均75点以上
4 継続	若手教員 育成研修 会	10年目以下の若手 教員	特設時 間、諸会 議、打ち 合わせ	・教職の基礎・基本「西新井小スタンダード」教科ごとの授業力の基礎・基本「足立スタンダード」、危機管理・ICT機器活用等、知識・技能の修得	・研修会の開催回数	・年間50回以上
5 新規	言語能力 の向上	全児童	・年間 ・専門家 活用	・「校内俳句ウイーク」年2回実施。応募と奨励。 ・劇団員による音読表現。心情理解。低学年。 ・外部講師による俳句指導と落語授業。国語への興味関心を高める(中学年) ・読書感想文指導(高学年)	・応募作品数 ・出前授業の開催回数 ・児童の意欲	・前年度以上の応募数 ・3項目4回以上 ・意欲向上
6 継続	特色① ICT活用 (区情報 教育研究 拠点校)	教員 授業全般	小中連 携、区内 公開、校 内研究	・ICT機器ならではの授業づくり ・遠隔地等との交流授業 ・テンプレート開発 ・プログラミング的思考	・研究会の開催実績 ・授業公開	・小中連携2回 ・校内研究4回(区公開含む) ○合計6回

自己評価の際に記入

7 継続	特色② 防災教育	全児童	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 防災巻授業を活用した安全教育の推進 地域の避難所運営訓練とのコラボ学習実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災巻授業 児童が避難所運営訓練に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で防災巻授業の実施 訓練参加 	自己評価の際に記入
8 継続	特色③ プレゼンテーション能力育成	全児童 *コミュニケーション能力育成	各教科 校外学習	<ul style="list-style-type: none"> 高学年児童によるTGGでの交流体験学習の実施 プレゼンテーションの指導実践研究(全学年) タイピングスキル向上 	<ul style="list-style-type: none"> 交流体験学習実施 研究授業 キーボー島 	<ul style="list-style-type: none"> TGG 6年参加 学級賞 学校賞 	

重点的な取組事項－2		安心できる学校づくり					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
自らの安全が確保できる児童の育成と学校の安全確保		指導、訓練、研修会の完全実施		自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題	達成度
いじめの防止・早期解消	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に則った取組の完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」の適切な理解、報告・連絡・相談で情報共有 「いじめ」を見逃さない学校の体質づくり 		自己評価の際に記入			
安全指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 全11回の安全指導、完全実施 避難訓練は多様な場面を想定し13回 	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画にある各月安全指導 避難訓練、安全教室の確実な指導と避難訓練実施方法の工夫改善 					

児童の安全確保ができる教師	<ul style="list-style-type: none"> ・「危機管理研修会」年間10回実施 ・各月「安全点検」完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会と現場での経験を通して全教職員に、①全ての危機管理に当事者意識をもたせ、②安全確保を職務行動として示すことができる力を身に付けさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
---------------	--	---	--

重点的な取組事項－3 地域に開かれた学校づくり						
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果	コメント・課題	達成度
開かれた学校づくりの推進		P T C A委員の教育活動への参画と協働授業の推進		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
B 目標実現に向けた取組み						
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度	
開かれた学校づくりの推進	P T C A委員の教育活動への参画と協働授業	開かれた学校づくりの推進	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			

6 まとめ	
(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性 (2) 保護者や地域へのメッセージ (3) その他（学校教育活動全般について）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>